

パブリックコメント 意見と市の考え方（案）

市民からの意見の要約	新城市としての考え方
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の意見の中でデマンドという言葉が出ているが、今後、新城市では導入する予定はあるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域と行政で公共交通を支える体制づくり」にありますとおり、本計画では10の地域自治区単位でそれぞれの地域のニーズに合わせた運行方法を導入していくことを考えております。デマンドについても地域との協議の中で、導入を検討してまいります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>計画の中で様々な運行主体が書かれているが、新城市としては関係者とどのような調整を進め、実行していくつもりなのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運行主体については、近年の法改正により、様々なものが考えられるようになりました。地域との協議の中で、ニーズに合わせた運行主体の導入を検討してまいります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域自治区予算や地域活動交付金を公共交通のために使うということは考えているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域自治区予算や地域活動交付金は地域協議会において採択されております。地域との協議の中ではそういったことも含めて協議を行い、要望があれば対応していきます。「地域と行政で公共交通を支える体制づくり」、「支線の運行 利便向上策・利用促進策の実施」に地域自治区予算及び地域活動交付金に関する記述を追加させていただきました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>住民からの提案制度を導入してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、地域との協働の中で、住民の方から公共交通に関する意見を聞く機会も増えていくと考えております。ぜひ、そういった場に参加していただき、提案をしていただければと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>計画の中に新城から名古屋、名古屋から新城への通勤・通学者の数が書かれている。これは高速バスを考えていく上で非常に重要なデータであるが、継続して調査する予定はあるか。また、このデータから高速バスの将来像について何かイメージしているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画書に掲載されているデータは国勢調査のものを使用しております。「高速バスの運行 利便向上策・利用促進策の実施」にも記述を追加させていただきましたが、定期的に市民の方へのアンケートを行い、利用者の属性や移動のニーズについては継続的に調査してまいります。</li> <li>高速バスの将来像については定住人口の確保と交流人口の増加につながる路線として考えております。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>高速バスについて、今後、名古屋方面でのルート延長・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>名古屋方面でのルート延長につきましては、市街地に入っていくこと</li> </ul>

<p>パッケージプランの作成、イベントとの連携、新城市内バス停への観光案内版の設置やボランティアガイドの導入といったことは考えているか。</p>	<p>で、到着時間がずれることが予想されるため、現在考えておりません。          ・観光利用につきましては、新城さくらまつりポスターへの高速バス情報の掲載、湯谷温泉発展会との連携プランなど、高速バスの観光利用に関する取組みは始まっています。今後も観光部局と連携を図り、施策を検討してまいります。</p>
<p>・高齢者の免許返納について、具体的な施策は考えているのか。</p>	<p>・「高齢者の運転免許自主返納を促進する施策の実施」にも記述を追加させていただきましたが、免許を返納していただいた方にSバスの回数券や定期券等を配布するといった施策や、警察署と連携したPRを行うといった施策を早急に進めるよう、考えております。</p>
<p>・福祉輸送については、今後、どう考えているか。</p>	<p>・「福祉有償運送の運行」にも記述を追加させていただきましたが、現在、新城市ではNPO法人や社会福祉法人が行う有償運送と市町村が行う福祉有償運送を運行しております。今後もそれぞれが連携を図りながら福祉輸送を行っていきます。</p>